

**会員事業所景況実態調査平成29年1月～3月分集計結果**  
**調査依頼数:518 回答数106 回答割合:20.5%**

平成28年度4回目分の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した1月～3月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	19	45	40	104	▲ 20.2	▲ 16.7
	採算	14	51	40	105	▲ 24.8	▲ 16.0
	仕入単価	7	59	31	97	▲ 24.7	▲ 21.0
	従業員	27	74	4	105	21.9	16.1
	業況	12	55	41	108	▲ 26.9	▲ 17.5
	資金繰り	7	76	23	106	▲ 15.1	▲ 16.1
建設・建築業	売上	4	11	3	18	5.6	3.8
	採算	2	13	4	19	▲ 10.5	▲ 16.0
	仕入単価	1	15	3	19	▲ 10.5	▲ 19.2
	従業員	5	13	2	20	15.0	28.0
	業況	1	15	4	20	▲ 15.0	▲ 11.5
	資金繰り	0	17	3	20	▲ 15.0	▲ 15.4
製造業	売上	5	9	4	18	5.6	▲ 4.0
	採算	5	8	5	18	0.0	0.0
	仕入単価	1	9	7	17	▲ 35.3	▲ 20.0
	従業員	6	12	0	18	33.3	12.0
	業況	5	9	4	18	5.6	▲ 4.0
	資金繰り	4	10	4	18	0.0	▲ 16.0
卸・小売業	売上	4	8	13	25	▲ 36.0	▲ 40.9
	採算	2	15	8	25	▲ 24.0	▲ 27.3
	仕入単価	0	14	7	21	▲ 33.3	▲ 40.9
	従業員	3	21	1	25	8.0	23.8
	業況	1	13	11	25	▲ 40.0	▲ 36.4
	資金繰り	0	19	6	25	▲ 24.0	▲ 33.3
飲食・サービス業	売上	6	11	15	32	▲ 28.1	▲ 26.7
	採算	4	11	17	32	▲ 40.6	▲ 13.3
	仕入単価	4	16	9	29	▲ 17.2	▲ 6.7
	従業員	12	18	1	31	35.5	6.7
	業況	5	14	15	34	▲ 29.4	▲ 26.7
	資金繰り	0	26	6	32	▲ 18.8	▲ 14.3
その他	売上	0	6	5	11	▲ 45.5	▲ 21.9
	採算	1	4	6	11	▲ 45.5	▲ 21.9
	仕入単価	1	5	5	11	▲ 36.4	▲ 16.1
	従業員	1	10	0	11	9.1	9.4
	業況	0	4	7	11	▲ 63.6	▲ 15.6
	資金繰り	3	4	4	11	▲ 9.1	▲ 6.3

**(全体)**

前回より、資金繰りにおいては改善されてきてはいるが、他のDI値においては悪化している。  
 特に採算、業況については10ポイント近く悪化となっている。従業員は前回よりも不足傾向にある。

**(建設・建築業)**

前回より、業況以外のDI値においては改善されてきている。  
 前々回からみても売上、採算のDI値については増加傾向にあり大きく改善されている。

**(製造業)**

前回より、売上、業況、資金繰りについては大きく改善されている。  
 仕入単価については15ポイント上昇と悪化し、従業員もプラス20ポイントで不足となっている。

**(卸・小売業)**

前回より業況以外は、悪いながらもDI値はプラスポイントとなっている。  
 従業員については、前回の不足状態から約15ポイント改善されている。

**(飲食・サービス業)**

前回より、全項目が悪化をしており、特に採算が30ポイント近くDI値が悪化している。  
 従業員も過剰となっている。

**(その他)**

前回より、全項目が大きく悪化をしている。従業員数については、ほぼ横ばいとなっている。

【質問 A】 3月と比較した4月～6月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	15	51	41	107	▲ 24.3	▲ 31.1
	採算	9	58	35	102	▲ 25.5	▲ 30.8
	仕入単価	8	53	35	96	▲ 28.1	▲ 22.2
	従業員	27	67	10	104	16.3	14.4
	業況	13	50	41	104	▲ 26.9	▲ 30.8
	資金繰り	7	75	23	105	▲ 15.2	▲ 17.1
建設・建築業	売上	3	10	7	20	▲ 20.0	▲ 44.0
	採算	2	10	7	19	▲ 26.3	▲ 38.5
	仕入単価	1	14	5	20	▲ 20.0	▲ 20.0
	従業員	6	10	4	20	10.0	20.0
	業況	3	12	5	20	▲ 10.0	▲ 38.5
	資金繰り	1	14	5	20	▲ 20.0	▲ 19.2
製造業	売上	6	8	4	18	11.1	▲ 24.0
	採算	3	10	5	18	▲ 11.1	▲ 20.0
	仕入単価	0	8	9	17	▲ 52.9	▲ 24.0
	従業員	7	10	1	18	33.3	12.0
	業況	5	7	5	17	0.0	▲ 24.0
	資金繰り	3	11	3	17	0.0	▲ 12.0
卸・小売業	売上	0	15	11	26	▲ 42.3	▲ 22.7
	採算	1	17	6	24	▲ 20.8	▲ 31.8
	仕入単価	0	12	9	21	▲ 42.9	▲ 31.8
	従業員	2	20	3	25	▲ 4.0	23.8
	業況	1	14	10	25	▲ 36.0	▲ 31.8
	資金繰り	0	20	5	25	▲ 20.0	▲ 23.8
飲食・サービス業	売上	4	16	12	32	▲ 25.0	▲ 33.3
	採算	2	17	13	32	▲ 34.4	▲ 26.7
	仕入単価	6	15	8	29	▲ 6.9	▲ 20.0
	従業員	11	20	1	32	31.3	6.7
	業況	3	14	14	31	▲ 35.5	▲ 20.0
	資金繰り	0	27	5	32	▲ 15.6	▲ 14.3
その他	売上	2	2	7	11	▲ 45.5	▲ 31.3
	採算	1	4	4	9	▲ 33.3	▲ 34.4
	仕入単価	1	4	4	9	▲ 33.3	▲ 16.7
	従業員	1	7	1	9	0.0	9.4
	業況	1	3	7	11	▲ 54.5	▲ 34.4
	資金繰り	3	3	5	11	▲ 18.2	▲ 16.1

(全体)

前回より、仕入単価のDIは多少悪化しているものの、全体として改善される見通しとなっている。  
従業員も依然としてプラス数値で不足傾向にある。

(建設・建築業)

前回より多少、資金繰りで悪化する見通しはあるものの、全体としては改善される見通しである。  
従業員についても改善される見通しである。

(製造業)

前回より仕入単価の大幅な悪化があるものの、他の項目については改善される見通しである。  
従業員については不足となる見通しである。

(卸・小売業)

前回より採算、資金繰りは改善されるが、売上、仕入単価、業況は悪化する見通しである。  
従業員については不足から過剰の数値になる見通しである。

(飲食・サービス業)

前回より、売上、仕入単価の数値は改善されるが、採算、業況は悪化する見通しである。  
従業員については、不足で悪化する見通しである。

(その他)

前回より、売上、仕入単価、業況が悪化し、採算、資金繰りについてはほぼ横ばいの見通しである。  
従業員については改善される見通しである。

【質問 B】 事業承継について

(1) 事業所の形態

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
①法人事業所	18	16	17	22	9	82
②個人事業所	2	2	7	10	2	23

(2) 代表者の年齢

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
①50歳以下	4	5	1	9	6	25
②51歳以上	3	2	8	3	0	16
③56歳以上	2	2	3	5	2	14
④61歳以上	8	2	6	4	1	21
⑤66歳以上	3	3	4	7	1	18
⑥71歳以上	0	4	3	4	1	12

(3) 後継者について

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
①いる	13	7	8	10	5	43
②自分の代で廃業	0	3	11	15	5	34
③代表者が若くまだ考えていない	6	8	3	7	2	26

⇒後継者候補について ((3)で①いるを選択)

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
a子ども	10	5	6	6	5	32
b配偶者	0	0	0	0	0	0
c兄弟姉妹	0	1	0	0	0	1
d役員・従業員	3	1	3	1	0	8
e社外の第三者	0	0	1	3	0	4

(4) 事業承継時期について ((3)で①いるを選択)

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
①1年以内	0	0	0	1	0	1
②1～3年	4	2	1	1	0	8
③3～5年	1	1	2	3	1	8
④5～10年いない	4	3	5	0	1	13
⑤10年以上先	1	1	0	1	2	5
⑥未定	3	0	1	1	0	5

(5) 事業承継を行ったり、準備するうえで、当所に対して求める支援についてご回答下さい。(複数選択可)

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
セミナー開催	3	5	4	10	0	22
相談機関紹介	1	2	1	1	1	6
専門家相談会開催						
補助金制度の情報提供	5	0	8	8	1	22

その他

●人材紹介(製造業)

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

項目	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
売上が上がらない	7	5	12	10	5	39
利益が上がらない	9	5	9	11	6	40
消費・需要の停滞	2	4	12	6	2	26
仕入価格(原材料費)の上昇	3	5	4	9	4	25
販売単価、受注単価の低下	3	4	3	1	2	13
後継者不足	0	2	5	3	1	11
大型店等の進出等による競争の激化	2	0	5	3	0	10
従業員不足	7	6	2	10	2	27
従業員の技術力不足	7	9	1	5	3	25
事業資金の借入難	2	0	2	2	1	7
商品在庫の過剰	1	0	3	1	0	5
消費者ニーズの変化への対応	0	2	6	4	1	13

その他

- 創造力不足(製造業)
- 売上増加に伴い、工場が手狭になっている(製造業)

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

- 公共工事の発注が減ってきている、いまだに仕事量が少ない。(建設業)
- 4月～6月の売上が極端に減少し、利益の確保が難しい、  
県・市ともに通年発注の体制をお願いしたい。(建設業)
- 28年度は新潟県内どこの役所を訪問しても予算が削減されているとのことで、  
小規模な工事でも値段を下げないと注文をいただけませんでした。  
今年度は6月頃から売上が徐々に伸びる予定なので、皆で頑張っていきたいと思っています。(建設業)
- 福利厚生費事業主負担が大変である、労務単価が上がることを願います。(建設業)
- 亀田工業団地に隣接した場所に、工業団地の造成をお願いしたい。(製造業)
- 現場の維持がやっとです。(小売業)